

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3972400265
法人名	社会福祉法人 ふるさと会
事業所名	グループホーム福寿の家
訪問調査日	平成 19年 8月 23日
評価確定日	平成 19年 11月 13日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年9月13日

【評価実施概要】

事業所番号	3972400265		
法人名	社会福祉法人 ふるさと会		
事業所名	グループホーム 福寿の家		
所在地 (電話番号)	吾川郡いの町中追2598-1 (電話)088-897-0255		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	2007/8/23	評価確定日	2007/11/13

【情報提供票より】(年 月 日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 14 年 8 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤15人、非常勤1人、常勤換算15.6人	

(2)建物概要

建物形態	併設/単独	新築/改築
建物構造	木造、鉄筋コンクリート造り	
	2階建て、1階～2階部分	

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000~23,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	900 円		

(4)利用者の概要(8月 3日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	3 名	要介護2	6 名		
要介護3	4 名	要介護4	3 名		
要介護5	2 名	要支援2	名		
年齢	平均 80.3 歳	最低	63 歳	最高	96 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	さくら病院・森木病院・内田脳神経外科・もみのき病院・内田内科消化器科・西村歯科
---------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

周辺の景観が素晴らしい溪谷にあるも、グループホームの立地条件としては不安を感じるが、職員が利用者の個性を良く理解しており、心配を払拭する。「この環境が生活歴にマッチしている方にはうれしい場所。」「町の中の生活に慣れた人には最初は苦痛かも。」と言う言葉から、温泉、溪谷を活かした生活が想像でき、また頼れる職員の支えを心強く感じ、管理者の介護へのこだわりが頼もしい。家族の協力を得た一泊旅行も特記すべきサービスで、利用者の笑顔が想像できる。豪雨による避難も経験しているが、地域住民との交流に積極的に取り組み、理解と協力を得られることが大きな力になっている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価では5項目が課題として残されたが、衛生/安全管理については、検討しきっている。健康管理についても改善シートを作成し研修会を実施するなど、取り組み中である。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員が評価の意義を良く理解し、自己評価には全職員により取り組んでいる。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>2か月に1回の会議開催前に討議内容(運営状況、行事報告・予定など)を郵送し、欠席委員を含め、すべての委員から意見をいただき、その意見を反映する体制が作られている。しかし、委員からは、討議内容についての意見があまり出ていないが、委員は外部評価の結果についても、インターネットで情報を得ている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法、運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族には、毎月1回開催する家族会のほか、面会時やインターネット通信、定期広報紙、電話など多くの方法で情報を提供しており、揺るぎない信頼関係が構築できている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の公民館で「認知症サポーター養成講座」を開催(参加者50~60人)したり、地区内の「いきいき体操」や小学校の行事などにも参加するなど、積極的な交流を展開している。地域の情報は得られているが、自治会に加入するなど、一層深い連携が求められる。</p>

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 〔事業所独自の理念と基本目標を掲げている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である。 〔 〕		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 〔理念を各ユニットに掲げ、職員は日々互いに確認し、会議等の場で話し合い認識ができています。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面（言葉かけ、態度、記録等）において、理念が反映されている。 〔理念に基づく基本目標は分かりやすく、職員はこれらを理解し共有できており、日々の様々な場面において取り組む姿勢が窺える。〕		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 〔地域清掃の日やその他の情報も入手して参加しており、交流ができています。〕	<input type="radio"/>	地域との円滑な関係が構築できており、交流も行えている。地理的または地域の実状に応じた連携の方法はあるが、地域とつながり情報を確保する選択肢として自治会等への加入も検討されたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 〔管理者をはじめ職員は、評価の意義を理解し有効活用をしている。今回の自己評価についても職員同士の話し合いの中で評価を作成するなど全職員で取り組んでいる。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 〔検討のうえ、改善シートを作成し改善に取り組んでいる。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 〔会議前に討議資料を全委員に郵送し、欠席委員からも意見、要望などをいただくなど配慮している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 []		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 〔運営推進会議での情報交換をはじめ、「認知症サポーター養成講座」「るんるん若返る体操」などの開催に積極的に協力するなど、町との連携がスムーズに進められている。〕		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 〔家族の面会時には必ず利用者の近況報告を行い、また家族からの要望などを聞くことに配慮している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 〔2ヵ月に1回、行事や家族会などグループホーム全般の事柄を福寿通信で家族に送付し、その際に担当職員者から個々の様々な情報を、写真、手紙などで伝えている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 〔電話、メールなどを使い、利用者の状況変化には迅速な対応を取っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 []		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 〔家族会を毎月1回開催している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 〔外部者に第三者委員を依頼している。行事などの際に家族からも意見が出され運営に反映できている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 〔同法人内での配置転換が時にはあるが、1ヵ月程度の引継ぎ期間をとるなど、利用者が混乱を招くことのないよう配慮されている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取、スムーズに移行できるように配慮している。 〔およそ1ヵ月間程度の余裕をもってスムーズな交代が出来るよう配慮されている。〕		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 〔職員の雇用の形態の違いに関わらず受講できるよう配慮されている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 〔研修報告会を行い全員に伝達、周知をしている。3ヵ月に1回の全体会では全員が出席し、ケアについての話し合いを行い意見を出し合っている。〕		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 〔 〕		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 〔包括支援センターからの紹介の場合は、情報が面接前に入手ができているが、在宅からの場合は、自宅訪問等により情報を得ている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 〔本人、家族には1度は来所してもらっている。〕 <input type="checkbox"/> 入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 〔入所希望者の初回の在宅訪問の際には管理者1名で面接を行っている。〕	○	入所希望者の面接においては、管理者と職員の視点の違いでより多くの情報が得られることを念頭に初期段階から管理者と職員による面接を行うことが望ましい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	<input checked="" type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 〔食事作りの場面では、寿司や酢の物をつくる際の酢加減や味付けを教わったり、趣味や得意分野(編物・裁縫など)で主役を演じる場面作りをされている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 〔事業所の温泉に職員と一緒に入ったり、グランドゴルフでは対戦相手としてプレイするなど共に支えあい、楽しむ場面がある。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 〔利用者からことわざを教わったり、昔の生活用具である洗濯板や手動洗濯機を使つての暮らしぶりを聞くなど人生の先輩として様々なことを教えてもらう姿勢と場面がある。〕		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 〔 〕		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 〔家族の来所時や電話などで現状の暮らしぶりを報告し要望や意向を伺い、話し合いをした上で介護計画に反映するよう取り組んでいる。〕 <input type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 〔 〕	○	介護計画作成後、日々のケアについての話し合いはしているが、計画の進捗状況、不具合などを話し合い検討する場が設定されていない。期間を定めモニタリングを行うことが重要である。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 〔退院時や心身の状態に変化が生じた場合には随時見直している。〕 <input type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 〔 〕	○	利用者の状態や状況に応じ、臨機な対応も想定した個別の機関設定が求められる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながら生活が継続ができるように努めている。 [入居後も家族の方との話し合いの中で、これまでの医療処置を受けながらの生活が継続できる柔軟な支援をしている。] <input checked="" type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 [指針はあるが、地理的な不便さもあり家族、医療機関、事業所との相談のうえ医療機関へ移ることもあるが、可能な限り事業所でケアを提供をしている。] <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 [定期的、緊急時を問わず基本的に通院の送迎は事業所が行っている。利用者や家族の要望で外出や外泊にも積極的に取り組んでいる。]		
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 [] <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 [] <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 [事業所が受診することを予め家族に伝え、受診後に結果を電話で報告している。初診の時は家族にも同行していただき職員との情報が共有できている。]		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 [終末の対応指針を定めており、病状の経過を見ながら医療機関と連携のもと、家族との話し合いを踏まえて対応している。] <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員、が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。 []		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 〔内風呂(事業所内)と温泉を利用し、本人の希望の日に週3回は入浴できるように支援し、また毎日でも入浴できる。時間帯も希望に浴えるように体制を工夫している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 〔入浴を拒否される利用者もおられるが、声かけや時間をおく方法で解決に努めている。〕		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 〔個人の生活歴を把握し、それぞれの場面で楽しめるよう支援している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 〔食事作りや畑仕事等において経験や知識を教わる場面を創りだしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 〔 〕		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 〔行きつけの美容院へ出かけたり、愛読書の購入に本屋まで出かけるなど個人の要望に応え外出を支援している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 〔事業所の周辺には素晴らしい景観の散歩コースがあり、歩行困難な利用者も何らかの手段で日常的に外出の機会を持てるよう支援されている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 〔周辺の散歩コースでの散策をはじめ、買い物、利用者全員での遠出、ドライブなど積極的に支援されている。〕		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 〔無断外出される方もおり、危険を伴う周辺環境から外出の傾向を把握し対応している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 〔近隣店舗の従業員とは日頃からの顔見知りであり、連絡を受けるなど、心強い協力者となっている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 〔地域の消防署と定期的に訓練を行い、地区の防災訓練にも参加されるなど地域の方の理解と協力を得られるよう努力されている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 〔避難路に常に、整備している。非常用食料として無洗米、水、味噌など常備している。〕		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 〔チェック表を用意し把握している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 〔個人の嗜好、健康状態等など把握し、栄養バランスにも配慮している。特に水分摂取の困難な方には水分量の確保に力を注いでいる。〕 <input type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 〔 〕	○	「家庭的」を運営の礎としているが、高齢者の健康保持の面から栄養バランスが重要で専門家のチェックを定期的に受け、安心して食事を提供できる工夫が重要である。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 〔フロア兼食堂は、利用者がくつろげる広さとして適当である。空間には家財を様々な用途として活用したり手作りの棚等で工夫され親しみを感じる。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 〔家庭的な雰囲気を壊さない落ち着いた雰囲気である。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 〔事業所の回りは、山や溪谷に囲まれて窓の外を見れば季節の移り変わりが手に取るように分かる。また調理の匂いや食材にも匂いのものを取り入れるよう配慮している。〕		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置おくなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 〔筆筒、椅子等の家具や家族の写真、額、時計など思い思いに置き、馴染みのものから懐かしさを感じられる居室であり、個別に落ち着いた居場所になる工夫をしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 〔 〕		